

事務事業名		掛合波多温泉管理事業		所属部	掛合総合センター	所属課	事業管理課
総合計画体系	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	産業振興グループ	課長名	神田直人
	施策名	(35)観光の振興		担当者名	藤原雄二	電話番号	0854-62-0300
	目的:対象	市外の人	意図	A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。		(内線)	4506
	基本事業名	(105)受け地づくりの推進		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 項目 中事業 中事業名 0 5 2 0 2 0	観光施設管理事業 波多温泉管理事業	
目的:対象	市外の人	意図	受け入れる。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
波多温泉「満寿の湯」の管理運営 管理運営を波多コミュニティ協議会へ指定管理 施設概要:木造瓦葺平屋建て410㎡、浴室(男女各1)、休憩室(和室10畳、15畳)、食堂、売店

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 指定管理業務 機械設備維持管理業務 泉源ポンプ交換機購入業務 施設修繕業務	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 指定管理業務 機械設備維持管理業務 施設修繕業務			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	イベント数	回	16	16	16	16
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	市民及び市外の利用者	ア	雲南市の人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
サービス向上により、入湯者の増加を図る。	ア	入湯者数	人	20,494	20,035	20,908	21,000	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
指定管理料: 6,875千円 機械設備維持管理委託費: 1,491千円 泉源ポンプ購入費: 2,499千円 施設修繕費: 970千円 消耗品費: 3千円	財源内訳	国庫支出金	千円	1,208		
県支出金		千円				
	事業費計(A)	地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	8,449	8,680	11,838	10,170
	事業費計(A)	千円	9,657	8,680	11,838	10,170
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	260	240	4
	人件費計(B)	千円	1,011	946	16	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,668	9,626	11,854	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成24年度の入湯者数は約20,000人であり、利用者数も定着している。 開館から11年が経過し、配管等設備の老朽化が進んでおり、計画的な更新や修繕が必要である。	設備の老朽や故障に伴い、平成21～22年度に経済対策予算で、浄化槽修繕、泉源ポンプ更新や従業員休憩室増築を行った。 平成24年度は木質チップボイラーが整備された。	現在食堂はテナントとして別会計で営業しているが、一体となった運営が理想である。

事務事業名	掛合波多温泉管理事業	所属部	掛合総合センター	所属課	事業管理課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	配管の腐食、機器の故障など増加しており、修繕費の確保が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	開設以来、地域の拠点施設となっており難しい。 また、平成24年度に木質チップボイラーが補助事業により設置されたため、施設の廃止・休止は出来ない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	温泉施設は市内数箇所あるが、それぞれ個性ある施設であり、波多地区の拠点施設として重要である。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	既に指定管理しており、管理料の削減余地はない。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	既に指定管理しており削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	対象は市民及び市外の利用者としているほか、対象者からは入湯料をいただいております。公平・公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	指定管理が定着しており、運営上問題ない。 配管の腐食、機器の故障など増加しており、修繕費の確保が必要である。	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上		●																	
	維持		×																	
	低下	×	×																	
指定管理が定着しており、運営上問題ない。 配管の腐食、機器の故障など増加しており、修繕費の確保が必要である。																				